

平成30年度第3回白馬村図書館施設検討委員会 議事録

日 時	平成30年10月2日(火) 午前10時から午前11時58分まで		
場 所	白馬村役場302会議室		
	役職名等	氏 名	出欠
委員長	社会教育委員会委員長	富山 正明	出
副委員長	図書館協議会会長	小林 英雄	出
委員	太田一級建築士事務所	太田 史彦	欠
委員	前白馬村教育委員会教育委員長	塩島 弘之	出
委員	しろま保育園保護者代表	石山麻衣子	出
委員	白馬幼稚園保護者代表	中澤小百合	出
委員	白馬北小学校 PTA 会長	武藤 慶太	欠
委員	白馬南小学校 PTA 会長	渡部 虎史	出
委員	白馬中学校 PTA 会長	太田 具英	欠
委員	白馬北小学校校長	木下 政道	出
委員	白馬南小学校校長	倉科 浩美	出
委員	白馬中学校校長	田中 守	出
委員	公募委員	小川由美子	出
委員	公募委員	長島 律子	欠
委員	公募委員	高橋 英子	出
事務局	生涯学習スポーツ課長	関口 久人	出
	生涯学習スポーツ係長	柏原 英司	出
	生涯学習スポーツ課主幹	下川 貴彦	出
	図書館司書	糸氏 志信	出
委員以外 の出席者	(役場総務課) 渡邊宏太		
傍聴者	なし		
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項 (1) 図書館施設検討委員会報告書について (2) 今後の日程について (3) その他 4. 閉会		

## 1. 開会

## 2. あいさつ

(関口課長) 今月中に教育委員会へ答申を上げたいです。有識者会議と並行してやっていますので、こちらの結論を早く出して有識者会議でもう少し詰めてもらう。今日は、場所と更に踏み込んだ話をとっていますので、よろしくお願いします。

(委員長) お願いします。今日は、いい天気で、清々しいですね。本日は、この前の続きを話す予定です。前回の内容を確認しながら最後まで行っていきます。

## 3. 協議事項

(委員長) 協議に入ります。

まず、前回の報告書の内容につきまして、前回は主に報告書の4. 5. 6. について話しました。それらをふまえて修正したものが今回赤字で示されています。それについてご意見があれば伺いたいと思います。

(下川) 報告書の修正箇所の説明

(委員) P, 3言葉の間違ひについて 遊たり→遊んだり

先程、騒げると言ったが、声を出せたり、会話をするというような表現の方がいいのでは。走り回るといふ様子は、図書館なので、言葉の問題です。

P, 4飲食できる場所ということですが、私が以前住んでいた場所では、障がいをもった方たちの施設が運営していました。公共の場所で、そういう方たちの雇用を確保するということでも、民間委託でそういう事を考えてもいいかなと思いました。クロスロードとかありますね。

(委員長) 安曇野図書館のカフェスペースでやっているようです。全国的にもそのような事を行っているところがありますね。

(委員) P, 6 幼児・児童エリア 子育て支援コーナーとはどういう意味か？

今ある支援ルーム機能全体をこの中に含めたものなのか、一部相談スペースがあるというようなニュアンスなのか、図書館の中のコーナーなのか、複合施設の一つとして考えているのか、騒がしいことが難しいというならば、図書館の一角のスペースだけとなると騒音などは難しいと思うのですが、これはどういう意味で書かれているのでしょうか。

(下川) この検討委員会は、図書館のことだけを考えているので、図書館の中だけで子育て支援の情報が載っているもののコーナーとして考えています。この先、有識者会議で、複合施設で子育て支援関係のものが図書館の隣りなどにできるとしたら、また状況が変わってきますが、あくまで、図書館の中での、子育て情報などの支援をするコーナーとして載せてあります。

(委員長) 相談コーナーみたいなものか。複合施設などになったら機能的にかぶってくるものもあるかもしれない。

(委員) 一角にちょっとしたものを作るという意味なのでしょうが、誤解されてしまうので、表現を変えた方がいいでしょう。子育て情報支援コーナーとか。遊びスペースとかも誤解されそうです。言葉で説明できればいいのですが、気を付けてもらいたいなど。

P, 3の親子で遊んだりというところですが、“親子”を入れなくてもいいのではないかと。静かな場所と会話ができる場所で済むのではないかと。親子とは限らないのではないかと、老人同士でも。

(下川) 親子でも、としたほうがよいか。

(委員長) ただ遊んだりにすると子どもだけで遊ぶような感じにもなってしまいます。

(委員) 文章にするのは難しいですが、説明する時に気をつければいいのかとも思います。

(委員) この報告書のすべてを取り上げるわけではなくて、今まで検討委員会でまとめた意見とかをまとめたものがこれであって、ここから有識者会議に持って行ってできる事とできない事を考えるという考えでいいのですよね？

(委員長) これをベースにして考えてくださいという形で、渡します。基本的には、図書館の中でのコンセプトとしては、これを重視してもらおう形になると思う。

(課長) この図書館施設検討委員会というのは、教育委員会の諮問機関ですので、この答申については、教育委員会に答申を出すようになり、教育委員会で再度この答申の内容について教育委員さんが追加する事項を含めたなかで村長に提出し、その提出したものを有識者会議に持っていくようになります。

委員長が有識者会議のメンバーに入っているのだから、ここで出た内容については有識者会議で逐一話をして頂ける、代弁できるようになっています。

(委員長) 報告書の7. 施設内容について

子育て支援コーナー、遊びスペースについては、表現を変えて誤解のないようにする。

カフェスペースは、カフェと言ってしまうが、カフェと言い切るのか、飲食(できる)スペースを設けるとかやわらげて表現するのか。前半の部分では飲食としかしていないので、言葉としてカフェとってしまうと営業的なものをイメージしてしまわないか。そういうものを用意するのかしないのか。いるのかいないのか。

(委員) カフェの運営は、図書館の運営とは専門外だから実際は難しいと思う。そこを長い目で考えると、今現在欲しいものと、未来に欲しいものでは時差があると思う。長いスパンで考えると

どう考えるか。どう表現したらいいかなと思う。

(委員長) 営業的なことではなくて、景色がいい所でのんびりできる場所というような感覚で、ここでは飲食してもいいというようなイメージがあったのかもしれませんが。表現が難しいのかなとも思う。

(委員) 色々な図書館がありすぎて、カフェに対しての認識も様々なイメージがある。あってもいいし、なくてもいいというのが、実際のところで、それで人が来るかと言ったらあまり重要視していない部分だと思う。あったら便利だと思うけれど。

(委員長) 居場所的な感じでまとめておいたらいいのかな。営業的に考えるとかなり厳しいのではないかと考えていて、民間にしても難しいと思う。

(委員) むしろ、図書館の機能がしっかりして町づくりができれば、そのまわりに民間の店が出店するかも・・・。

(委員長) 図書館に来てもらうひとつのきっかけ的なものもあって。営業的なものと難しいが。

(委員) だとしたら、白馬でイベント慣れしている上手に運営できる人がいれば、広場的な扱いをして、この前も珈琲のイベントがありましたよね、ああいう感じで、期間を設けてとかでずっと経営しなくても、四季折々のイベントみたいな感じで開放して、うまくやってもいいのかなと思う。

(委員長) 調理スペースというか、そういうスペースをどこかに設ける。

(委員) ただし、そこで最低限の事ができないといけないので。

(委員長) スペースだけは、施設だけは作っておいた方がいいのではないかな。後からは作れないので、小さくてもいいから厨房的なものや、それらをやれるものを作っておくことで、後々イベントや料理教室などを行った時に使えるのではないかなと思う。なければ、できないので。必要かと思う。

(委員) ここには、ないのですが、先日の資料で柱とか壁がなるべくないような、と書いてあったと思うのですが。最近では、地震や災害も多いし雪国なので景観重視とかだと大丈夫か心配です。

(委員長) それは、建築家などが考えることで、構造上の問題なので。

(委員) 建築の専門家が力を入れすぎると、窓をすごく広くとった作りにしたりとか。先日の台風でも窓が割れて書物が散乱してあばら家みたいになっているところがあったので、本にとっても日

差しはよくないので、景観が景色がとかばかりになると、建築家が力を入れすぎるとそういう構造物になっていて災害時にも問題になっているのですが・・・。

(委員長)そこは、配慮してもらおうということで、丸投げしてしまうとそういうことになるし・・・。

(委員)バランスです。もし、危険な方にいきそうになったら言ってください。デザイン重視ばかりではなく。

(委員長)奇抜なデザインばかりを考えると、維持管理も大変になるので、当初から話に出ていることなので、そのあたりの事は、後ろの特に注意してほしいところに、入れておきましょうかね。

(委員長)導入エリアでは、図書館でイベントを行う時など色々な形で使える。

(下川)カフェスペースの言葉は、飲食としてもいいか。

(課長)どういうエリアとしてイメージすればいいのか。玄関を入れてエントランスがあって、そこにちょっとした展示コーナーがあり、椅子などがあって雑談や飲食ができる。お茶が飲める。それが、持参したものなのか、自動販売機なのかという、そういうイメージなのかなとぼくは思ったのですが。

(委員長)例えば図書館本体施設の図書館に入って、すぐに本があるのではなくて、エントランスみたいなものがワンクッションあって、奥に本があるというイメージの中なら別スペースということになる。

(委員)今の話を聞いていると、ちょっといい自動販売機程度のものが置いてあるカフェスペースなのかなと思いました。先程委員長が言っている話ならば、交流・学習エリアの中に入れることなのかな、町中の営業しているカフェかどうかということは、ここの施設のことではなくて、複合施設になった時には、それが、入っているかどうかという話なのではないかと。でも、図書館にもちょっとは飲めるような自動販売機がほしいなど、ぼくは思うのだけれども、それも複合施設との兼ね合わせなので。ただ、委員長が言ったようなものは、必要ならば交流・学習エリアに必要なならば書くことだし。ここのカフェスペースは、自動販売機等にしてしまってもいいかも。

(委員)ママ世代と話しをしたり、幼稚園のアンケートでもそうですが、カフェスペースとは、本当にカフェをイメージしている人が多いです。期待しています。営業的に難しいという問題もあるが、2店舗目3店舗目としてという方に入っていただいてもいいのではないかと思います。でも、若い人、保護者達はそういうイメージでいますので、ニーズは高いかなとも思います。

(課長)この検討委員会では、飲食スペースというニュアンスにして、建設にあたってのところで、カフェも併用できるようなものも検討してほしいという要望に抑えたほうがいいのかなど。ここで、

カフェとすると図書館にカフェがなくてはいけないという事になってしまうので、水分補給できるスペースは、図書館でも必要だということは出して、もう少しグレードアップしたおしゃれなものは、別に検討してください、というふうに専門家に投げかけてしまってもいいかとも思います。

(委員) 図書館の最低限の機能ということで、水分補給ができる場所、長時間居る人が弁当を食べられる場所とか、そういうものをイメージしていました。そこに、少しハイカラなコーヒーが飲めるような店が入っているというような所が私の中でごっちゃになっていたのですが、そこら辺の検討は、ここでは、できないかと思いますので、空間として残しておいて、そういう余地ができるように。ここでは、こういう形をというのが決定して載せられないのかなと思いました。静かな場所と会話ができる場所の区別、この場所では会話ができる、皆さんが気楽に過ごせる所と、静かな場所と、また違った機能をもたせてもいいかと思う。

(委員長) 図書館に気楽に寄ってもらおうという意味でそういう場所を作りたいということ、あまり図書館ばかりなことを考えてしまうと、人が遠ざかってしまう。ひとつのきっかけみたいな形で、そういったものがあつたらいいなとお母さん達がカフェというのは、最もかなとも思う。兼ね合いが難しい、どちらもありかなとも思った。カフェは、村民の皆さんからの要望でも多かったので、お母さん方の話でも多かったというのもそういう事かと思います。

(委員) そのことを報告書の8. 留意すべき点に検討内容として入れてもらったらどうか。カフェみたいなものを作るなら、複合施設との関係もあるので、複合施設のどこにおくのかとなると意味が違ってくるので、検討委員会としては、図書館のすぐ近くに作ってほしいとかは、書いてもいいと思う、どうですかね、お母さん達。

(委員長) 妥協案かな。排除するという事ではなくて、そういったものを検討してほしいということで、ここにカフェと書くよりは、検討材料としてそういったスペースのものを今回の建築の中で用意していく、くらいの話にしてみたら、どうでしょうか。区画としては、別れる。管理としては、図書館から出てしまうので。営業でやる場合には別計算しなくてはならないので。そういうことでは、8. の建設に向けて留意すべき点に、強く要望するような雰囲気を書いておいたらいいのではないですかね。

(委員) お母さん達が、カフェスペースがほしいなと思っている理由は、私たち村民が子どもを連れて行く場所がひとつもないからです。ノースフェイスのカフェに行けるかといったら、小さい子を連れて行って、お母さんが抱っこしてコーヒーなど飲めない。コーヒー1杯持って床に地べたで遊ばせられる所があるかといえば、唯一あるのが支援ルームだけです。でも、支援ルームは飲食できません。そして、年齢により利用できる曜日時間が決まっている。食事ができるのは、外の雨さらしの所で、お弁当を持ってきているならば食べてもいいよ、となつてはいますが、この時期からは、もう寒くて食べられません。だから、よその家やガストに行ったり。でも、ガストもテーブル席しかないので小さい子どもを連れてだと、お母さん達がゆっくり話ができるかといえば、あり得

ない事です。だから、白馬を出て、そのような所を探して行っています。大町の文化会館におひさまカフェがありますが、お母さん達が話をしながら子どもたちを遊ばせておけるので、私も利用していました。村内には、ゆっくりできる場所はひとつありません。カフェをいいなと思うのは、そういうことだと思います。

私自身のことを思っても、わが子が兄弟皆で話したりすると騒がしくなるので、もっと小さい子どもの母世代はどこに行けばいいかと思う。白馬村には、子どもを連れて行ける公園がひとつもないから、スキー場とかに連れて行ったりと、村ではない施設を頼らないと行けないという事が、今まで子どもを育ててきて困ってきたことです。

白馬村は、自然はすばらしいし、自由もあるが、子育てに便利かと言ったら不便な事しかないのです。ですから、今回、図書館ができますということになったら、図書館だけの機能だけではなく複合施設としても、私たち母世代が子どもを連れて行ける所にしてほしいと思います。

幼児・児童エリアのところはどうなっているのか。静かにしなければならない施設ということは、わかっていますが、図書館とはそういうものだよね、ということが大きく謳ってしまうと、また子育て世代は行けなくなってしまう。支援施設とかそういう場所をきちんと区切ってもらって、防音対策などをしっかりしていただき、安全に子どもを遊ばせながら、お弁当を持参して食べたり、話したりして集いたい人も、静かに図書館を利用したい人にご迷惑をかけずに互いに楽しめるような、そこにカフェというものがあったら最高だなということで、母世代がカフェに思う事は、そういうことだと思います。

(委員長) カフェのイメージが違ってきましたね。もう少し、くだけたような感じで、子どもを遊ばせておいて飲食できるようなスペースという事ですかね。

(委員) これは、コンセプトの問題だと思います。今の話は、お母さん世代には、とても切実な話だと思います。ご年配にはご年配の思いもあると思いますし、それぞれの年代層で違うと思います。だから、村としてそういう声を拾って、そういう施設を作ろう、複合型にしようというのは、大賛成です。それならば、複合型で合体させるならば、そちらを充実させて子育て支援ルームを図書館レベルまでしっかり造って、白馬としては、子育てを応援しますみたいな、コンセプトがあれば、すごく充実したバランスがとれたものになりそうだが、今はまだ、そういうものが何もない状態で、図書館というもので、どういうことをしようかみたいなふわふわした状態。村のコンセプトが大事で、複合型図書館としてのコンセプトがはっきりしていないと思います。このあつい思い入れは、今のこの内容だと反映できないです。だから、コンセプトが大事、そうしないと誰にとってもいい複合型などできるわけがないし、高齢で歩けないからバスが必要、今おっしゃったような内容もとても大事。では、複合型図書館でどこを目指しますかという事が、全く出ていないので・・・、こういう内容を村長さんに聞かせたいです。作る時にしっかり考えてほしいです。だから、こういう生の声は大事。

(委員長) 今回の図書館を作るということを、ひとつのきっかけに施設的な充実ということ、図書館そのものというよりは、せつかく図書館を整備するのでそれと一緒にそういった施設も整備する。

(委員) もしくは、今後ひとつ図書館というシンボリックなものが建築されました、時間差で子育て支援センターができました、学校との連携とか、だんだんと町づくりみたいなものはないのですか？

(委員長) それは多分、あまり期待しない方がいいのでは。勝手な私個人的な考えですが、ようやく図書館というものを作ると腰を上げたところで、全体的な町づくりにお金をかけましょうということは、多分、コンセプトにはなくて、複合という図書館を作るということで、何かあわせて整備しようということだと思うので、今後くっつけていくという町づくりはなく、逆に言うところから今回の話になるべくのっかきたいという事だと思います。

(委員) 実際、そういう所もあるのですが、そういう所は、造る側がしっかりコンセプトを持っているので、児童館と図書館を一緒にしましょうという造りになっているから、児童にもお母さんにも優しい造りなのです。そこをしっかりと白馬村でわかってくれないと、こんな取ってつけたような、はいここでどうぞみたいになってしまうから。

(委員長) 今言ったように、つながっているひとつの施設だとしても、独立しているスペースで、そこに行くとき自由に気を使わなくていいという場所も一緒につくってほしい。核は図書館だけれども、親子が行ける図書館の付帯施設みたいなものも充実されていて、そこに行くというような場所を造ってほしいという事。

(委員) この委員会の趣旨からすると 全部を書くところがないのですよ。図書館という施設をより有効に、より皆に来てもらう施設にするためにも、先程のお母さん達の切実な事の為にも、ご高齢の方々が集えるところも必要、そういうものを複合的なものを必ず隣接してもらわないと造る価値なしくらいの事を、この会でできることは、報告書の8. にそれを貪欲に打ち立てるぐらいしかないのかなと思う。

ただほしいだけでなく、図書館利用をより促すためにも・・・とか文面に入れる方法しかこの委員会ではないかなと思う。

(委員) カフェだけでなく、WSとか、子どもに向けた工作やよみきかせとか、1回限りの大きな仕掛けではなく、足を運んでもらうような色々な小さな仕掛けをすることも運営としてすごく大事だと思います。ある図書館では、木工ブースに特化していたりと、ちゃんと運営していけば人がついて来たりすると思うので。

(委員長) 図書館としては、そのようなブースを1つ造っておいて、WSなどができる場所が必要かと思いますね。

(委員) しかも、花井さんがそういうものが得意な方だから、上手に入れこんで飽きさせない図書館づくりに力を入れてほしいです。

(委員長) WSは、多目的室でもいいかとも思う。学習室は、静かな場所かなと。報告書の8.に強く謳った方が、よりしっかりしたものができるのではないか。中途半端に入れると、ちょっとした幼児コーナーで終わってしまう可能性があるから、むしろ、それとは違うものとして、きっちり整理してくださいと謳った方がいいだろう。

(委員) 話が先に進んでしまうかもしれませんが、場所の選定もありますが、僕は子育て支援ルームの案がいいと思ったのですが、ここに仮に造るとしたら子育て支援ルームが入るとか、そういった検討もしていかなくてはいけないのかなと思うのですが、もしそこに決まって子育て支援ルームが入るとしたら、そういったことも考えていかなくてはということなのですかね？

(委員長) もしそうなれば、その機能をあたらしく造るという事ではなくて、一緒に造るということになるのではないかと思う。

(委員) そうなれば、先程言っていたような機能も可能になるのでは、と思いますが・・・。

(委員) この学習室というのは、会議室みたいな多目的室みたいなことでしょうか。

(課長) この学習室とは、自習ができるところかなと。子どもたちが勉強するところ。

(委員) 子どもが勉強するのに、どこかの家に集まったりしますが、子どもだけになってしまうと、なった時に、図書館に行きなさいと言いますが、今はスペースがないし、小学生がわあーと居て勉強できなかったと言って帰ってきました。だから、ガストに行くと言いますが、子どもだけでガストに行くのもどうかと思うし、では、どこで勉強すればいいか・・・。

(委員長) ではやはり、これは必要であろうということですね。自習室としますか。

(下川) 1人で静かにやりたい人と何人かグループでやりたい人がいる。

(委員) ここは図書館で得意な分野だから学習室で大丈夫なのではないでしょうか。色々なパターンがありますね。

(委員長) 建物の造りかたとかもあるのかな。子どもたちが学習できるスペースをつくりましょうということがコンセプトの中に入っているから、そういう場所を造るということで、学習室というかたちで入れている。

(委員) 学習室とはふれあいセンターにある学習室と同じで多目的室かなと思ってしまいましたが、そういうことではないですね。普通に考えれば、学習室と言えば自習室ですね。

(委員長) 名前は色々で、他の館でも学習室だったり自習室だったりで。

(委員) 子育て支援コーナーの件で先程質問がありましたが、校長先生方や園長先生方も出席される子育て会議というものがあまして、その会議で、今の放課後児童クラブが満杯だから、新しい図書館の複合施設の中に、という話がありまして・・・。それを、聞いていたので、支援コーナーと学習室を混乱して考えてしまいました。そういった話はもうなくなってしまったのでしょうか・・・。

(課長) この委員会の答申先は教育委員会になるので、教育委員会の中で子育て支援会議が行われ、その意見は教育委員会の中で入れていくようになる。教育委員会で答申をしてそのまま村長にあげてしまうと、ここの会議で出た意見が全然反映できない。だから、ここの意見というのは、教育委員会にあげた後に、教育委員会がこの中に落とし込んで、村長にあげるという形になります。それらについては、その会議で話されていることは、反映されていくと思います。

(下川) では、飲食スペースということで、いいですかね。

(委員長) そうですね、カフェという部分は後ろの箇所で考えた方がよさそうですね。

<場所について>

(委員長) いくつか案がありまして、写真もつけました。これだけがというわけではないのですが、これを選んだ理由について説明していただきます。

(下川) 公共施設等耐用年数一覧表と写真の説明。場所・広さ・村有地など。

(委員長) 広さ、耐用年数、駅前周辺、村有地があるかなどの条件をみながら、5つの候補を出していただいています。ご意見頂けますか。

子育て支援ルームの所が、面積、立地もいいし、村有地であり動きやすいし調度いいと思う。

(委員) 子育て世代としては、子育て支援ルームが変わってほしいという希望があるので、支援ルームの案に乗っかりたい。一時預かりなどもとても寒くてかわいそうな施設でやっているし、まだ、この施設をこの先10年20年と使用するのかと思いますので、支援ルームが変わってくれるといい。

(委員) 村有地の境がわかりにくい。5件の写真の村有地の確認。

子育て支援ルームの所が上がってきているが、通路として子どもたちが安全に通えるかどうかとか、白馬の特性で冬期の雪の持っていく場所とか、様々あるが、どこが村有地でそういう事をどうクリアしていくかというところを、もう少し具体的に検討できればと思うのですが。資料としてもう少し

し境をはっきり出してもらえばと思いました。

(課長) 支援ルームの村有地について写真にて説明。  
周りの土地も場合によれば買収していく可能性もある。

(委員) 子育て支援ルームも多目的の所も複合施設にするにあたっては、その周辺を多めに買ってほしいと提言してほしい。雪やアクセスやバスのことも含めて、余裕を残すためにも多めに、そんなふうには土地の確保の仕方を是非検討してほしい。

(委員) 子育て支援ルームの建物のスペースはいいと思うが、駐車場スペースが狭くないかと思う。

(委員) 複合施設になったら、来る人数が今とは違うから、みんな車で訪れると思うので、狭いと思う。雪の季節もあるし、図書館だけならいいかもしれないけど、駐車場スペースは甘く考えない方がいいと思います。

(課長) 2階建てになれば、駐車場スペースは増やすことも可能になるであろう。ただ複合施設になったら、根本的に足りないということもあり得るので、更に、用地買収も必要になるかもしれない。舗装されていないので舗装されれば除雪もよくなる。一体的に整備されれば、駐車スペース的にもかなりよくなると思う。

(委員長) 周辺の土地を多少は購入してもらおうということがあるかもしれないが、一からやるよりは村の所有地の方がいい。買収からやると、かなり大変になるでしょう。多目的の所にしたら、役場の駐車場と同じになるからそれこそ止められない。

(委員) 複合施設になったら上へ上へ(2階3階)と行くのか。

(委員長) それは、有権者会議の事項です。  
子育て支援ルームと同じになれば、機能的な問題だからそれほどなものにならないかもしれないが、もっと異質なものとなれば、空間的にも場所的にも難しくなってくるだろう。

(委員) 遊ばせるスペースと一時預かりが図書館と一緒にとなると結構いっぱいいっぱいな感じがするのですが・・・。

(課長) 子育てと一時預かりとかのスペースが複合施設に入らないようであれば、その施設は、保育園の方に建築するとかを考えるのであるが、それはまた次の段階になるのかと思う。いずれにせよ、この施設は耐用年数が過ぎていて、建て替えをするのか、閉鎖をするのか、というところまできています。では、今後何をするのかということで、図書館と合致するのであれば、そこにある機能がそこに入るのか、違う所にいくのかということ、ここにあったから、そこにきたものにくつつ

くということではない。

(委員) この候補の中では、第一候補は支援ルームかなと思う。多目的のところは、発展性がないであろう。白馬駅周辺、ウイングなどの線路の東側は、敷地があったとしても子どもたちや老人の方なども行きにくい場所であろう。ハピア南側は、位置的にはとてもいいが、敷地が狭く広がっていくにも発展性がないし景観の面でも難しい、歩いていくには安全で集まりやすいし、商店もあるのでもいい場所ではあるのだが。やはり、支援ルームの所が土地を広げる発展性もあり、公園もあり、雪をどかさ広さもある。マイナス面としては、安全に集まれるかどうか、道の狭さ、通路を考えるとか道路の拡幅とかは考える必要がありそうだ。

(課長) 条件として30台程度止められる駐車場と、答申に入れる予定である。今は止められるが、冬期はどうであるか。

(委員長) 30台は少ないかもしれない気がする。

(委員) 図書館の滞在時間を考えると、広めにとっておいた方がよいであろう。

(委員長) 北小体育館側の駐車場はあるが、道の狭さは以前からの問題事項である。多目的の横の土地を皆買えればいいのかもわからないが。多目的は、耐震工事を行ったばかりで、無駄使いにもなる。子育て支援ルームは、耐震工事はまだなにもやっていない。

(委員) 木流し公園と続きの景観でやれば、いい感じで上手な図書館づくりができそうですね。一体化できそうなイメージがありますね。そこには、バスが通れる道はないか。

(委員長) 道はないですね。課題としては、道の確保かと思われる。

(課長) 道の駅について、六十刈体育館～白馬中学までは、歩道を造ろうという動きはある。ハピア～白馬高校までは話は進んでないが、村としてやりたい希望はあるようです。

(委員長) 図書館建設を起爆剤として、周辺の環境整備にもつながる。支援ルームを第一候補としてよろしいですね。子育て支援ルームをなくし、可能な限りあわせて整備を行い、そこに付帯して図書館に人が集まり、道路整備等周辺一体も整備してほしい、ということをおこの意見として書いていくことでいいですかね。

あと、カフェの話も検討材料として入れておくということですかね。

(委員) 有識者会議の内容は？ 資料とかはないのですか？

(委員長) 村のHPにも出ている。前回の有識者会議の内容を説明。

(課長) 有識者会議でもでたのですが、造る場所によって目的も変わる。ハピア南側ならば、観光客もあわせた中で検討できるが、支援ルームならば、観光客を含めてということは難しくなるのかな、ということはあるかと思う。検討会議でここがいいとなっても変わる可能性はゼロではないということをご理解頂きたい。

(委員) 検討会議と有識者会議は、検討会議は村民が日頃から思っている意見を出して、有識者会議の方たちは大きな話をされていて、どちらの比率が軽いとかではないのでしょうか、村としては何を考えているのでしょうか。私たちがあつく話しても、いや村としては観光として考えていますということならば、私たちがこうしたいああしたい、生活に根付いたスペースとしたいと言っても・・・、村長としては、どのように考えているのでしょうか？ あくまで、意見を出しているだけで、集まって話しているのに無駄になって終わってしまったらもったいない、意見をはじかれてしまったら、せつないなと思うのですが・・・。色々話していても、ここの会議は図書館だけと言われてしまいますが、出来るものは図書館だけではないではないですか。村長は何を思っているのでしょうか・・・。話の中心核がよくわからないのですが・・・。意見ばかりを出して、まだ決まってないんだよね、ばかりで、よくわかりません。

(委員) 何も思っていないと思います。図書館って得意分野の人でないと意外に考えにくくて、だから、村長さんもそんな程度かなと思いますね。古いから新しいのを造ろうみたいな。

(委員長) 検討委員会という住民の意見を出すところがある、そのようなベースになるものがないと、何ものっからないと思う。図書館とはどういうものが必要なのだとということがあった上で、それでは、次に付けられるものがあるか、ないかという話になると思う。

(委員) 昔と違い、役場も色んな人の意見を聞かなくてはいけないということで、とりあえず検討委員会というものをつくったのかな、そうだとさびしいな思って・・・。

(課長) そうならない為にも、答申をきちんと謳ってやっていかなければならないと思っています。事務局として答申作成に入っていますので、教育委員に説明するにも子育ての事は話にも出ていますから、当然そういう話もしますし、仮に、教育委員会で子育ても含めてと上がったとします、上がったとしたら有識者会議で何をするかといったら、子育てを入れるなら維持管理を安くできるのか、施設のどうするのがいいのか、図書館と子育て、より専門的な意見と、そこにこういうものを入れると人が来るようになるとか、おもちゃ博物館の館長なども来ていますので、色んな部分でそういう内容を話してもらおう。ここの会議で上がった意見を教育委員会に上げて、それを教育委員会が認めれば、上がると思いますので、その意見を尊重し、話を進めていってもらおう。

(委員) 尊重されるといいですね。税金を払っているのは私たちなのにとってしまう・・・。

(課長) 有識者会議でもいくらかけられるか、そこです。村も無限に財源があるわけではないので、村有地を優先的にとなつて用地買収が少なければ、建物にかかる費用がもう少し多くできるかもしれないとか。有識者会議の事務局もそこに居て聞いていますので、こういった意見は、極力尊重するというのが前提です。

(委員長) 他の所から来た先生方は、村のことはわからないから、こういう報告があつて、初めて、白馬村はこういうことを望んでいるのだな、ということがわかる。そこに、こういうことを取り入れたらもっと面白くなるのではないか、人が集まりやすくなるのではないか、とか意見を伺う会議。だから、土台がないと話ができない。むしろ具体像は我々が出して、それによりそちらの会議があり、それを受けて専門家の人達が話し合つて。そこで決めてしまうわけではなく、それを受けて村が、ではこういうものを造りましょうということになると思う。この会議の意見が完全に、ひっくり返ることはない。

(課長) 予算のことで小さくなってしまふということはある。

(委員長) 私はその会議に出ているので、違う方向にいったらそれは止めます。他に何かあれば。

(委員) 村の予算は、いつ出るのですか。建築費用の概算とかは。

(渡邊) 仮に造るとなつても、全部村の予算だけではなく、国の予算とか財源をどこから持ってくるのか引張ってくるのか。ここ10年20年みた時に、だいたい村としては、これくらいのところまではいけそうというようなことは、今年度中には出てくると思うのですが、それを上限にするのではなくて、どこから財源を考へるというようなことは、有識者会議を含め検討することになると思う。その辺りの事は、来年度、細かく出していくことになるかと思ひます。今年度は基本構想を作成することなので、複合的な機能を何にするのか、場所はどこがいいのか、ということなどが決まるかと思うのですが、そこから先のどのぐらいの規模でどういった内容か、細かい事を精査していくのは、来年度の事業だと思ひますので、細かい事業書が出てくるのは来年度ぐらいかと思ひます。

#### <その他>

(委員) 去年ぐらいからとても具体的な会議となつてきていて、それぞれの代表者が個人の意見だけでなく、保育園や幼稚園や学校の代表者としてアンケートなどでもその意見を持ってきてくれているので、ここで話している意見をきちんと尊重してほしい。

そして、子育て支援ルームでは飲食できないルールだと言っていたが、今ある施設もルールを替えたり、ゆるくしたりすることは大事ではないか。4、5年前に、署名もしたのに遊具付の公園を造るという話もなくなった。また、この話も頓挫するかもしれない。行政に期待感がなくなつてしまつています。だから、本気度を示して頂きたい。今ある施設でできることも少し広げていってほし

い。グリーンスポーツも3歳以上は50円とはいえ有料です。それが嫌な感じ。公園だから無料がいいのでは。女々しいと思う。この前、敬老会がウイングであったが、区に入っていない人で車がな  
い人はデマンドを使うなど書いてあったようで、制約がいっぱいあって、暮らしていてもいやだ  
なと思います。有識者会議も傍聴してきましたが、事前に申し込みしなければならなかった。事前  
申し込みの必要はないのではないか。おじさんばかりの会議で何が決まるのかと言っていた人  
がいました。開かれた姿勢が村にほしいなと思いました。是非、村長に言ってください。

（渡邊）有識者会議の事前申し込みは、資料を事前に用意する必要があるためです。参加を拒  
んでいるわけではない。

（委員長）それでは、もう一度今日の内容を盛り込んで報告書作成します。

（下川）今後の日程等。

#### 4 閉会

以 上